

研究テーマ 子どもの健康と適応を守るユニバーサル学校予防教育
所属氏名等 鳴門教育大学 予防教育科学センター プロジェクト・チーム
 （センター所長 山崎勝之）

研究シーズ概要

減少の兆しがないいじめや不登校、子どもでも罹患率が高まっている疾患（生活習慣病、うつ病）への抜本的予防は急務です。その予防教育を科学的に実施するプログラム開発を行い、学校教員を実践者として育成し、学校での適用を継続化させます。

近年の子どもは、いじめや暴力で学校に適応できないケースや、うつ病、肥満等で心身の健康が著しく阻害されているケースが目立ちます。この問題に対しては、すべての子どもがこのような問題をもつ可能性があるとの前提で、学校適応や心身の健康を一次予防的に維持、向上させる必要があります。そのため、予防教育科学のもと、学校で行う一次予防教育の諸プログラムを開発・発展させます。そして、学校教員に実践者としてのトレーニングを実施し、円滑な適用環境を構築して、プログラムを学校で継続的に適用する実践研究を実施します。

（想定される）応用範囲／今後の展望

この研究事業により、我が国ではこれまで単発的また非科学的に実施されていた、学校における適応・健康への予防教育のあり方が明示されます。ここから、この種の予防教育の科学的な開発に必要な基礎研究と方法論の研究を導かれ、統合化への理論構築とともに、我が国における予防教育科学の発展に多大な貢献がなされることが期待されます。

